

事業報告書（令和5年度）

事業名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ

団体名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ 担当者名 飯田 啓

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

参加される家族の健康と安全を第一に考え、昨年度と同様で家族数を減らし、今年度は9家族で活動を行った。全体として一斉に集まるのは、令和5年5月28日（日）・7月23日（日）・10月1日（日）・11月12日（日）・12月10日（日）の5回とし、日帰り活動として実施計画を立てた。また、年間を通じて、ファミリースペース（家族の畑）に、家族ごとで都合のつく時に来ていただき、野菜作り・収穫体験をした。

○第1回 令和5年5月28日（日）

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】8家族・25名

【活動内容等】

- ・密を避けるために、9:30と11:00開始の2部制で行った。
- ・自然の家に来所し、ファミリースペースの抽選を行い、その後農園に移動し、家族の畑に野菜の種まきや苗付けを行った。
- ・まやかみ農園の方に、畝の作り方やシートの敷き方など指導や助言をしていただいた。
- ・玉ねぎの収穫体験を行った。

※当日都合が悪かった家族は、後日（6月4日）来所され、野菜の種まきや苗付けを行った。

○第2回 令和5年7月23日（日）

【場所】自然の家・まやかみ農園・桃園

【参加対象者・人数】9家族・28名

【活動内容等】

- ・密を避けるために、桃の収穫時刻を9:30と11:00開始の2部制とし、桃の収穫体験とファミリースペースでの活動をローテーションで行った。
- ・桃園では、まやかみ農園の方から桃の収穫の仕方を聞き、実際に収穫体験を行った。
- ・ファミリースペースでの活動を行った。（畑の手入れ・野菜の収穫・苗付け等）
- ・自然の家にて、家族で野外炊事を行った。

○第3回 令和5年10月1日(日)

【場所】自然の家・まやかみ農園・マスカットハウス

【参加対象者・人数】6家族・18名

【活動内容等】

- ・ハウス内での活動でもあり、9:30と11:00開始の2部制で行った。
- ・マスカットハウスで、まやかみ農園の方から「マスカット・オブ・アレキサンドリア」の歴史を聞き、実際に収穫体験を行った。
- ・まやかみ農園の方に、美味しいぶどうの見分け方や長く保存ができる方法などを指導していただいた。
- ・ファミリースペースでの活動を行った。(畑の手入れ・野菜の収穫・冬野菜の苗付け等)

○第4回 令和5年11月12日(日)

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】8家族・22名

【活動内容等】

- ・2グループに分け、玉ねぎの苗付け体験と里芋の収穫体験を交代で行った。
- ・まやかみ農園の方から、できのよい野菜の見極め方や収穫の仕方並びに、来年度のファミリー農園クラブで収穫する玉ねぎの定植の仕方などを指導してもらった。
- ・ファミリースペースでの活動を行った。(畑の手入れ・野菜の収穫など)
- ・自然の家で昼食後、家族の活動として「ウェルカムボード作り」を行った。

○第5回 令和5年12月10日(日)

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】6家族・18名

【活動内容等】

- ・野菜(じゃがいも・青首大根・おでん大根・ひかりかぶ・あずま金町かぶ・水菜)の収穫体験を行った。
- ・家族の参加人数相当の野菜が収穫できるように各家族に野菜収穫リストを作成し、その野菜分を収穫し持ち帰った。
- ・まやかみ農園の方から、できのよい野菜の見極め方や収穫の仕方・保存方法などの指導をしていただいた。
- ・ファミリースペースでの活動を行った。(野菜の収穫や畑の整備など)
- ・自然の家にて昼食後、家族の活動として「ツリー作り」を行った。
- ・今年度、全体としては最後の活動になるため、アンケートを行い、活動を振り返った。

2. ESDの視点
① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか
【アンケートより】 <ul style="list-style-type: none">・野菜や果物はスーパー等で買うものという感覚で特に何も思うことはなかったが、参加したことで生産者や生産過程に思いを馳せることが増えた。・3m×3mの畑でも世話は大変だったが、農家の方々は比較にならない手間ひまをかけて育ててくださっていることがよくわかった。食べ物への感謝の思いが強くなった。・非常に楽しい経験・体験ができた。野菜作りの難しさや面白さがわかり、プランター栽培を始めた。・家庭菜園に関心を持つことができ、よかった。
② どのように学び合いを取り入れたか
<ul style="list-style-type: none">・年間通しての活動だが、全家族が集まるイベントを5回計画し、農業専門の講師をお願いした。・果物や野菜収穫体験を織り込むことで、新たな体験や経験ができるようにした。・農業体験だけでなく、家族の活動として野外炊事やクラフト活動を取り入れ、家族同士の学びを共有しやすいようにした。
③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか
<ul style="list-style-type: none">・収穫の喜びが味わえるように、1回目は自分の畑の種まき・苗付けだけでなく玉ねぎの収穫体験を行った。・岡山の特産品である果物（桃・マスカット）の理解を深めるため、果物の収穫体験を取り入れた。・普段は市場に並ばない規格外品等も収穫し、料理をしてもらうことで、味には違いがないことを実感してもらった。・家族で食事を作り食べることがどんなに楽しいかということ、野外炊事等の活動を通して味わってもらった。・端材や落ちている木の実や枯れ枝などもクラフト活動の材料となり、家族で作品作りに取り組んだ。
3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）
<ul style="list-style-type: none">・全家族、これからも機会があれば、農作物を育てたり土に触れたりするなどの農業体験事業に参加したいと回答している。・農作物を育てるという体験ができにくい環境の方にとっては、年間を通して自分たちが体験したことで農業や生産者に対する認識が大いに深まった。・自分たちで野菜を作ることで苦手な野菜が減ったという子どももいた。・自分たちが住んでいる岡山の桃やマスカットについて収穫するだけでなく、歴史や栽培方法・収穫の仕方など地元の特産物について認識を深めることができた。・普段は、市場に出ない里芋の種芋や規格外品などを収穫し、食すなど普段ではできないこと体験し、食材・食品に対する意識の変化があった方がおられた。

- ・家族と一緒に活動することは「楽しい」ということを、野外炊事やクラフト活動を通して味わうことができた。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

- ・今年度も新型コロナウイルスの影響を鑑み、9組という家族数の設定となった。令和6年度からは、参加を希望する家族が多いことから、畑の大きさ・輸送の人数・安全性などを考慮しながら参加家族数を増やす予定である。
- ・ファミリー農園クラブの活動に多くのニーズがあるということが、持続可能な社会づくりに貢献していると考えられる。何度も農園に来にくい家族の中には、プランター栽培を始められたり、今度は自分の家のそばで畑を貸してくださるところを探したりという家族もおられた。農業体験を初めて行うよいきっかけとなっていることには間違いはない。
- ・岡山市内にも休耕地が増えていると思われるが、それをうまく活用できるようなシステムが構築できないだろうか。

令和5年度 ファミリー農園クラブ

第1回（5月28日）

ファミリースペース（家族の畑）の植え付け・玉ねぎ収穫体験



農園に到着し、まやかみ農園の方とご対面です。指導を受けながら、それぞれのファミリースペースに家族で植え付けていきます。何を植えるかは、家族で相談してきています。子どもたちは、見よう見まねで畝作りを行いました。なかなか、様になっていますね。野菜が大きくなるのは楽しみです。

また、家族ごとに区画を決めて、玉ねぎの収穫体験を行いました。初めて収穫する人も多くいました。一人1.5kg分の玉ねぎをお土産として持って帰りました。

第2回（7月23日）

桃の収穫体験と野外炊事



桃園に移動し、桃の収穫の仕方を教えてもらいます。いよいよ収穫です。どれをとろうかとか迷いながら「これだ」と思った桃をゲットしていきました。大きな桃をとることができて、思わずにっこり。桃園に入ったこともよい体験となりました。



桃の収穫の後、昼食は、家族で野外炊事に挑戦しました。メニューは、「ピラフ・豚汁」です。野外炊事に初めて挑戦する家族が多くいました。煙で目が痛くなりましたが、木陰で食べた味は、格別でした。家族での団らんのひとときです。

第3回（10月1日）

マスカット収穫体験



初めて入るマスカットハウスにびっくり！

まやかみ農園の方から、マスカット・オブ・アレキサンドリアの歴史や収穫方法や保存方法を聞きました。

いざ収穫です。どれが大きくておいしそうでしょうか。自分がよいと思うマスカットをとってくださいね。お家に帰るまで待ちきれずに思わず食べてしまいました。とれたてのお味は、どうかな？

第4回ファミリー農園クラブ（11月12日）

里芋収穫・玉ねぎ植え付け体験とクラフト（ウェルカムボード作り）



里芋は、一人一株、掘りました。どれがよいか吟味してから掘りました。あらかじめの土を取った後、子芋を種芋から、外していきました。スーパーには出ませんが、種芋も食べることができるそうです。最後は水で洗いました。

玉ねぎの苗はとても細く、植え付けていくのは、とても根気のいる仕事でした。参加者全員でがんばりました。生産者の苦勞がわかります。



昼食後、「ウェルカムボード作り」を行いました。まずは、焼き板を作らなければなりません。今回は、薪割りから行いました。火を熾し、板を焼いた後は、しっかりと磨きます。色を付けて完成です。思い思いの「ウェルカムボード」ができました。

第5回（12月10日）

冬野菜の収穫体験とクラフト(ツリー作り)



最後の収穫体験は、じゃがいも・大根（2種類）・かぶ（2種類）・水菜の収穫も行いました。どれを抜くかは、自分次第。いろいろな冬野菜の収穫体験を行いました。今日の夕食に出てくるかもしれませんね。



昼食後、「ツリー作り」を行いました。材料のほとんどが、山からの恵みです。家族で、アイデアを出し合い、世界に一つの「ツリー」ができました。

ファミリースペースの方は、2月末まで使用できますが、全体としては集まるのは、今日で最後でした。それぞれに、よい経験となったと思います。